2013年7月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
新聞		
1	発表者名もしくは掲載者名	小島　肇
	記事名	皮膚感作性の動物実験代替法「h－CLAT」関心高まる
	掲載紙及び掲載日時　※	化学工業日報　2013年7月17日
	掲載内容（150字以内）	資生堂と可能が共同で開発した化粧品の皮膚感作性（アレルギー性）試験代替法「h－CLAT]が、OECDのテストガイドラインに採用される可能性が高まったと。
雑誌		
1	著者名	小島　肇夫
	題名	技術講座　安全性評価試験（21）遺伝毒性試験－げっ歯類を用いる小核試験
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	COSME　TECH　JAPAN，3（7）116-120（2013）
国内学会		
1	発表者名	小島肇夫
	演題名	日本での皮膚感作性代替法開発状況について
	学会名，発表年月及び場所	皮膚感作性試験ワークショップ　2013年7月12日、日本化学工業協会
国際学会		
1	発表者名	Hajime Kojima
	演題名	Workshop: Alternative Test Methods and International Regulatory Perspectives（ワークショップ：動物実験代替法と国際的な行政展望），JaCVAM: Recent Progress and Future Plans for the Validation and Acceptance of Alternative Testing in Japan（JaCVAM:日本における動物実験代替法バリデーションと受入れの昨今の進捗と将来計画）
	学会名，発表年月及び場所	The XIII International Congress of Toxicology, June 30-July 4, 2013,COEX, Seoul, Korea

2	発表者名	Takeshi Morita, Hajime Kojima, Makoto Hayashi*1
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	*1Biosafety Research Center, Japan
	演題名	General Principles of Chemical Selection for in vivo Validation Studies（in vivo 化学物質選択の共通原則）
	学会名，発表年月及び場所	The International Symposium of the Center of Alternative Methods for Safety Evaluation of Cosmetics, July 2, 2013,COEX, Seoul, Korea
3	発表者名	Hajime Kojima
	演題名	Our Practical Examples of International Validation Studies for Establishing OECD Test Guidelines （OECDテストガイドライン成立のための国際バリデーションにおける経験例）
	学会名，発表年月及び場所	The International Symposium of the Center of Alternative Methods for Safety Evaluation of Cosmetics, July 2, 2013,COEX, Seoul, Korea
レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告		
1	参加者名	小島　肇
	会議名（英文の場合は和訳も記載）	International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM) Coordination Meeting （動物実験代替法国際協調の調整会議）
	開催場所，年月	ソウル、韓国、2013年7月3日
	会議内容（150字以内）	日本、米国、EU,韓国のそれぞれの動物実験代替法バリデーションセンターより昨今の動向が報告され、協調して対処すべき試験法について確認し合った。